

# 測位補強サービスの高高度気球への適用

## 株式会社岩谷技研

### 実証の目的

測位補強サービス(SLAS)を活用し、飛行前に実施する気球の飛行経路予測精度を向上させることで、より安全な気球による宇宙遊覧サービスを提供する。

### 実施内容・結果

SLAS利用有りのモジュールと、SLAS利用無しのモジュールを同時に打ち上げ、利用有無での位置情報の差を調査する。

→SLAS利用があるモジュールの結果が、地表・海上で実際の高度に近い値を出力するという事を確認できた。

実際の気球の飛行経路と飛行経路予測結果の比較を行い、経路予測の精度向上手法を検討する。

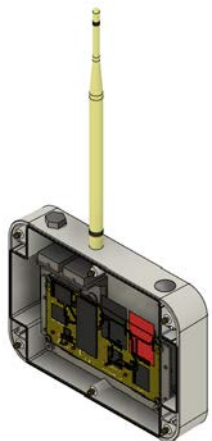
→比較の結果、実際の経路と経路予測では上昇速度に差があり、それが経路予測の精度低下に繋がっている事を確認した。

上昇速度の差を解消することで、経路予測の精度を向上させることができた。

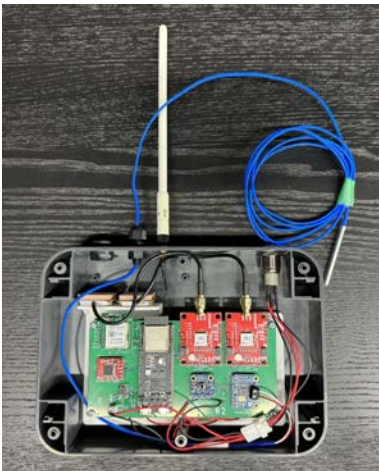
### 今後の展開

今回の事業を通してSLASが飛行経路予測の精度向上に寄与する可能性が示唆された。

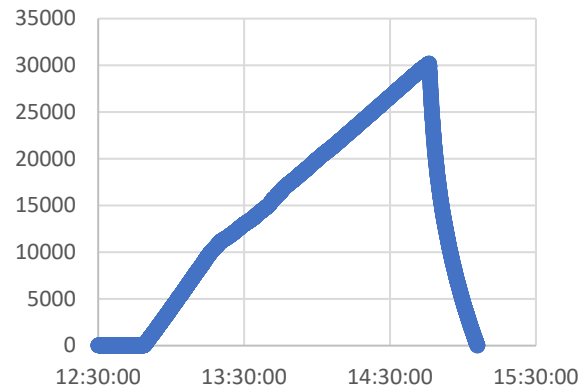
継続してデータの取得、検討を進め、次年度のサービスインに向け飛行経路予測精度の向上を目指す。



自社設計したロガー



飛行経路 高度



撮影した上空からの景色